

長野県町村議会議長会 議会広報研修会報告

日 程	令和7年 1月22日 (金)
研修場所	松本市キッセイ文化ホール・中ホール
研修参加者	小沢恵子・河合隆俊・原敏明・小川修・齋藤天 議会事務局 野沢稔・久保田綾
視察内容及び概要	<p>講師：(一社)自治体広報広聴研究所 代表理事・広報アドバイザー <small>かない しげき</small> 金井 茂樹 氏</p> <p>1. 講義 「伝わる議会報の企画と編集」</p> <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none">① 広報広聴の目的② 議会報の企画③ 議会報の編集④ 編集方針⑤ コンクール入賞作品 <p>2. 議会だより広報クリニック</p> <p>◆「議会だより たかもり 161号」について、講師の評価</p> <p>※ 主な内容と議会だより広報クリニックの評価は別紙</p>

視察内容及び概要

① 伝わる議会報の企画と編集

○ 伝わる議会報

- ・情報の受け手(読者)の意識・行動変容
- ・読者に何を伝えて、どうなってもらいたいのか?
- ・説明責任を果たす = 読者に理解・納得してもらう

○ 議会報の企画と編集

- ・理解・納得のためには、何を伝えればいいのか(企画)
- ・理解・納得のためには、どのように紙面に表現すればよいか

(編集)

	フェーズ	区分	内容
企画	誰に、何を伝えて、 どうなって もらいたいのか?	目的の明確化	目的(誰に・何を・ どうなってもらう)
		素材の収集	事実・事例・データ・意見・ 写真などを集める
編集	紙面上に、どの ように表現するか	情報の構造化	素材を編集要素 として組み立てる
		情報の表現	視認性・可読性・判読性・ デザイン性に配慮

② 議会報クリニック(議会だより161号)



講師によるクリニックのようす

視察内容及び概要

- 全体の評価
 - ・ リード文による説明があることで「読みやすく、わかりやすい構成でできている」と良い評価をいただいた。
- 読者に理解・納得してもらうための改善点
 - ・ ピックアップは、事業説明・質疑応答・町民の声などをあわせて掲載することで、読者が理解・納得しやすくなる。



- 見やすさ・わかりやすさへの改善点
 - ・ 罫線は細く、※ドロップシャドウは薄くし、装飾が目立たないようにすることで、すっきりとした印象に。(下表参照)
 - ※ ドロップシャドウ：写真や枠など対象物に影を付けること

(表) 通常の罫線

手法	65歳未満	65歳以上
広報紙	25.0%	20.2%
ホームページ	6.2%	0.0%
SNS	10.4%	3.7%
チラシ	18.2%	13.0%
ポスター	25.4%	16.8%
対面	18.0%	12.0%
電話	31.8%	25.3%

罫線を細く・薄く

手法	65歳未満	65歳以上
広報紙	25.0%	20.2%
ホームページ	6.2%	0.0%
SNS	10.4%	3.7%
チラシ	18.2%	13.0%
ポスター	25.4%	16.8%
対面	18.0%	12.0%
電話	31.8%	25.3%

- 研修会を通じて
 - ・ 今回の研修会では、議会報の内容やデザインの重要性について、わかりやすく講演いただきました。特に、読者の視点に立った情報提供やデザインの工夫が、議会報の読みやすさ・わかりやすさを左右することを実感しました。今後も、読み手の気持ちになって、理解・納得してもらえる編集に努めていきます。